

A0304-04	地下ピットの装置では、換気などの腐食対策を忘れるな		
本文	地下ピットに置いた装置は、予想以上に部品が腐食するので換気や監視などの腐食防止策を忘れないこと。		
リスクの種類	腐食による機械故障	関連目次・章節	A0101
理由(何故)	地下ピットは、空気の流れが難しい上に湿気が高いため、機器に結露して腐食性の雰囲気になりやすい。		
方策	換気設備を設ける、定期的な点検を行うなどの対策手順を決めておく。 ポンプ、計器など特に防食に配慮すべきところは、局所換気による高湿度排除などの対策を採る。 重要部品については耐食材料を使用する。		
事故例	工場内の地下4mに設置したフィルタ装置で、動作トラブルが多発した。調査したところ、内部部品が腐食していた。そこで、防食対策として、カバーを設けたが、ほとんど効果がなかった。(JST失敗知識データベースより)		
法的参考事項			
備考	点検していても腐食そのものは、防ぐことはできないので、腐食防止雰囲気を作るとか、耐食材料を採用するなどの検討をすることが必要で、事故例の対策にあるようなカバーを設けるのなら、そこに窒素でシールするなども考えること。		